

2023.02.09. 木曜礼拝 いつも希望がある、見上げなさい

エレミヤ 52 章

JD ファラグ牧師

共に祈りませんか？ 天のお父さま、主よ、教えを与えて下さり、御言葉を与えて下さるあなたの愛は、なんと偉大なことでしょう。主よ、あなたの御言葉に目を向け、エレミヤ書を終えるとき、エレミヤ書とエレミヤの話を、いろいろな意味で模範としてくださることに感謝します。まさに、こんにちのようです。あなたの御言葉には、嘲笑する者たちがその時代にやってくるとあり、私たちはその時代にいるように感じます。主よ、その励ましを感謝します。あなたの御言葉の中にのみある強さに感謝します。主よ、この教えを祝福してください。主よ、J.D.牧師と彼の家族、そしてこの教会を見守っていてください。ここはあなたの教会です。この共に過ごす時間に感謝します。今晚、私たちにお語り下さい。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン。皆さんこんばんは。お座りください。ありがとうございます。ようこそ。今夜は調子はどうですか？ 祝福されていますか？ 良かったです。オンラインの皆さんも歓迎します。今カポノが祈ってくれたように、エレミヤ書を終えることになります。今夜は 52 章です。この最も興味深い章を本当に楽しみにしています。しかし、その前に、少し時間をとって、トルコとシリアの人々のために祈りたいと思います。今回の大地震、皆さんもご存じだと思います。大地震です。聖書の学び前にネットでニュースフィードをチェックしたところ、死者数は 21,000 人を超え、さらに増え続けていると推定されています。救助活動も 5 日目を迎え、多くの奇跡が起きていますが、これだけ時間が経つと、生存者が見つかる可能性は低くなります。神には可能ですが、この点については、これまでも率直にお話ししてきたように、神が私の人生に働きかけてくださっていることで、聖書預言について話し始めると、聖書預言のシリア、聖書預言のトルコ、聖書預言のロシア、イランとなります。終わりの時代のこの預言に関わる国々に過ぎないと、この、人々であるという現実を切り離しがちです。しかし、実際には人々です。統計を読んだり、21,000 といった数字を聞いたりすると、これは 5 桁の数字なんです。しかし、21,000 人の人々です。これらは息子たち、娘たちであり、もちろん心を痛めるのが、子どもたちです。そこから赤ちゃんを運び出すときの映像を見るのは辛いですが…これらは人々です。21,000 人... 繰り返しになりますが、私はできる限り、視野を広げようと考えています。カネオへの人口が 4 万人だとすると、21,000 人は、カネオへの人口の半分ということになります。多くの人々の生活に影響を与えました。火曜日の夜、祈り会がありました。トルコとシリアのためにお祈りいただき、本当に感謝ですが、神には可能であり、このような悪いものを、良いものにするのがお出来になります。これによって、神は人々を救いに導くことがお出来になります。トルコとシリアの人々、そして影響を受けているすべての人々のために、もしよろしければ、一緒に、非常に具体的に祈りたいと思います。天のお父さま、このような時こそ、祈り、祈りの力、祈りによってあなたに近づくことができることに感謝します。主よ、私たちは今この時、あなたのもとに来て、あなたの憐みを求め、今なお激しい痛みと悲しみ、喪失感、そして未知なるものを体験しているすべての人々のために、特別に祈りたいと思います。主よ、あなただけがお出来になる方法で、いつも忠実であられるように、この尊い人々、生存者たちに、あなたご自身を現わしてください。主よ、あなたにしかお出来になれない方法で、彼らにご自身を明らかにしてください。あなたが聖霊によって、慰めと超自然的な平安と超自然的な強さをもたらしてくださいように。そして、もっと重要なのは、このために救われること、このために多くの人があなたのもとに来ることです。一人でも多くの人を救おうと精力的に活動している労働者たち、そしてこの努力、世

界中の人々がこれらの地域に入っている、主よ。その多くは、感謝なことにキリストにある兄弟姉妹です。主よ、私は彼らのために超自然的な力を祈ります。あなたがただ彼らを支え、強め、彼らの努力に祝福を与えてください。そして主よ、このことをあなたのご栄光のために用いてください。これは壊滅的です。しかし、神さま、あなたには可能です。私たちはただ、あなたに目を向けて、前もってあなたに感謝し、あなたを称え、あなたを信頼し、あなたがこのような恐ろしいことを通して何をしようとしておられるのかを見ます。主よ、ありがとうございます。トルコの人々、シリアの人々、トルコだけでなくシリアでも、影響を受けたそれらの地域のすべての人々のために祈ります。特にシリアは、どれほど酷い状況でしょうか。しかし主よ、あなたがとても愛しているこの大切な人たちを、あなたは乗り越えさせることができ、そうなさっていることを私は知っています。主よ、負傷者のために。ついに死者数は、もちろん、気が遠くなるような数で、恐ろしい数ですが、身体に傷を負い、二度と元の生活に戻れない人たちはどうでしょう。このことがもたらす影響、犠牲の大きさは。私は経済的な影響まで考えていました。この地域はすでに...つまり、貧困がとても深刻な地域です。ですから主よ、奇跡的な供給、あらゆる必要への供給を祈りたいのです。主よ、感謝します。私たちが祈れることに感謝します。私たちが祈るとき、あなたが私たちの祈りを聞き、あなたの栄光のために私たちの祈りに答えてくださることを知っていることに感謝します。主よ、感謝します。主よ、今夜、私たちはこの素晴らしいエレミヤ書を終えます。エレミヤを終えるのはちょっと寂しいです。もちろん、『哀歌』でもう少しの間、エレミヤと一緒に過ごすことになるのですが。主の御心なら、来週ですが、また違う形です。主よ、この書、この最終章をありがとうございます。興味深い章で、ここには沢山のことが詰まっています。あなたが私たちに見せたいもの、私たちに語りたことを、聖霊によって私たちが見ることができるようになってくださると信じて、もう一度あなたに目を向けます。今夜一緒に過ごす時間から私たちの生活に適用し、私たちのためにここにある豊かさを得ることができるようになります。なぜなら、これは理由があって書かれているからです。主よ、私たちはその理由を知りたいです。ですから、あなたの御言葉を通して私たちの人生にお語り下さい。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

それでは、最終章です。この章は、神の御言葉の中で、なぜ聖書にこの章があるのかという問いを、自分に投げかけなければならない箇所の一つです。実は、その答えは、この章の最後にあります。

私を信じてください。正直なところ、私は最後まで行くために最初の部分を急いで進める誘惑に抵抗しました。なぜなら、最高のものは最後にとっておくものだからです。この章の終わりまで来ると、ひらめいたように、こうなります。

「ああ、なぜこの章が私の聖書にあるのか、今わかったよ。」

そして実際に、この章が私たちの聖書のこの書の最後にあることにとっても感謝しています。エレミヤ書が51章で終わっていたらと思うと、想像がつかますか？ 先週の51章のバビロンへの裁きを覚えていますか？ この書があのように終わったら？ わお... このとても悲しく、激しく、難しい書にハッピーエンドが必要だと主が知っておられたようです。この52章でそれを知ることができます。さて、最後まで行くと見えてくるのは、「いつも希望がある」ということです。それは、神が私たちの頭を上げてくださるように、私たちが上を向くように励ましてくれるはずで、それがこの章の終わり、神がなさることです。さて、この最終章の著者については、いくつかの議論があることを指摘しておかなければなりません。エレミヤの書記のバルクだとする説もあります。また、エズラの可能性を指摘する人もいます。私たちはわかりません。それは神の意図によるものです。不要であり、無関係です。取るに足らないこと

です。いくつかの理由から、エレミヤがこの章の著者である可能性は低いと考えられます。しかしこのことは、この章に書かれている希望のメッセージを確証し補強するものです。それには 2 つ理由があります。

その第一は、この忠実な涙の預言者エレミヤが、40 年間、反対され、命を狙われ、嘲られ、嘲笑される中で預言した信頼性と誠実さを証言していることです。誰もエレミヤの話を見聞かず、誰もが彼のことを笑いました。40 年間、誰も彼の預言に耳を傾けることはありませんでした。しかし、すべての預言は 100% の精度で成就しました。52 章がそれを証明しています。ある種の正当性を証明するようなものです。これは、私たちの良き友人であるエレミヤの聖なる正当性を示すものであり、私たちはエレミヤを知ることになり...どのくらい経ちました？ 一年になりますか？ 分かりませんが、知りたくないかもしれません。もう一年経ちますか？ エレミヤ書にもう一年ですか？ 本当に？わお... いいじゃないですか。わお... まあ、悪くはないです。ローマ人への手紙の時は、2 年半くらいだったかな？ 当時ここに居ましたか？ おそらく、その後、皆さん二度と戻ってこなかったと思います。なんだか、すごい、残酷だな、という感じでした。ええ、いい意味で残酷でした。とにかく、ここに良き友人のエレミヤがいて、彼を知ることになってもう 1 年になると思います。具体的に記録されたこれらの預言はすべて、彼が預言したとおりに実現しました。

ですから、1 目：私たちの友人エレミヤの正当性を証明するために、52 章が必要です。

2 目：実際に結びついています。この章を書くように促された人が誰であれ、神の御言葉と神の御心が成就されるという希望を読者に与えるためです。というのも、それらは成就したからです。別の言い方で言わせてもらおうと、結局、最後の最後には、言ってみれば、預言者エレミヤが告げた通りのことが起こりました。バビロンによる捕囚だけでなく、ユダの回復も。つまり、神はこれらの預言の中で、ユダへの約束を包み込み、一緒に梱包されました。

「わたしはユダを見捨てません。わたしはユダを回復させます。」そして、神はそうなさいました。それは、私たちに希望を与えてくれるはずですが。私たちは頭を上げなければなりません。実際には、イスラエルの甘美な詩人ダビデが書いたように、神が私たちの頭を上げてくださいます。

「あなたは私の頭を上げる方。私は落ち込み、落胆しています。」(詩編 3:3 参照)

その落胆は、絶望に変わります。そして、主がやって来られ、主はあなたの頭を上げてくださるのです。あなたが見上げると、主はその人々の膝を強くし、あなたに希望を与えてくださいます。主は希望の神です。いつも希望があります。見上げてください。見上げて、頭を上げてください。それが私たちの聖書に書かれている理由です。読み進めて行く中で、ある人が言ったように、デジャヴの繰り返しに気が付くでしょう。重複してありますが、ほとんど以前にも読んだことがあるような内容になります。というのは、以前、そっくりそのまま読んだことがあるからです。しかし、これには理由があります。では 1 節に入りますよう。

—エレミヤ 52:1—

ゼデキヤは二十歳で王となり、エルサレムで十一年間、王であった。彼の母の名はハムタルといい、リブナ出身のエレミヤの娘であった。

—エレミヤ 52:2—

彼は、すべてエホヤキムがしたように、主の目に悪であることを行なった。

—エレミヤ 52:3—

実に、エルサレムとユダが主の前から投げ捨てられるに至ったのは、主の怒りによるものであった。その後、ゼデキヤはバビロンの王に反逆した。

ーエレミヤ 52:4ー

ゼデキヤの治世の第九年、第十の月の十日に、(具体性に注目ください) バビロンの王ネブカドネツアルは、その全軍勢を率いてエルサレムを攻めに来て、これに対して陣を敷き、周囲に壘を築いた。

ーエレミヤ 52:5ー

こうして都はゼデキヤ王の第十一年まで包囲されていた。

1年半、18カ月です。3回、3段階の攻防戦。3度目に捕虜をすべて連れて行きましたが、まもなくここで見るとおりです。

ーエレミヤ 52:6ー

第四の月の九日、都の中で食糧難がひどくなり、民衆に食物がなくなった。

繰り返しますが、聞き覚えがありますね？ さて、なぜこの詳細があり、なぜ今、2度目の記録が必要なのでしょう？ それは、ほかでもない、このためだと私は信じています。当時のこの軍事戦略は、ある都市を包囲し、征服しようとするとき、その周辺に陣を敷きます。戦略的、軍事的に最初に行くことは、彼らの食糧と水の供給を断つことです。今、彼らが持っているものは、城壁の中にあるものだけです。それが尽きたとき、彼らを捕まえられます。ここでの適用が分かりますか？ どうか見逃さないでください。これは重大です。非常に大きな意味を持ちます。なぜなら、これはまさに私たちの人生における敵の戦略だからです。敵は私たちの周りに陣取り、何よりもまず、私たちの供給源である生ける水の源、命のパンを断とうとします。

人はパンのみによって生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによって生きるからです。

(マタイ 4:4)

それが私たちの糧になります。その供給源や源泉が絶たれ、命のパンである神の御言葉、命の水の飢饉が発生する場所に来てしまったら、敵は私たちを捕らえます。非常に興味深いです。18カ月かかったことを知らなければなりません。だからこそ、詳細が重要だと思います。私たちは、このすべてが行われた日、月、日、時を知っています。もちろん、歴史がそれを裏付けています。私たちは、これらの包囲が行われた正確な月、年、そしてバビロンに運ばれて捕囚が行われたことも知っています。いつそれを行ったかだけでなく、どのように行ったかもわかっています。そのことは私たちを立ち止まらせるはずですが、敵は私たちの人生にこれを仕掛けてくるからです。それは、一定期間にわたるものです。私たちは御言葉に触れておらず、一日が過ぎ、一週間が過ぎます。食事をしていません。命の水の井戸から飲んでいません。そして、間もなくして、突然、私たちの霊的生活に飢饉が発生したことに気づきます。霊的に弱くなってしまいます。すると、敵に征服されるのは時間の問題です。なぜなら、敵はまず、この霊的意味での水の供給と食糧の供給を断ち切ったからです。だから、あとは時間の問題です。

ーエレミヤ 52:7ー

そのとき、都は破られ、戦士たちはみな逃げて、夜のうちに、王の園に近い二重の城壁の間にある、門の道から都を出た。カルデア人が都を包囲していたので、彼らはアラバへの道を行った。

ーエレミヤ 52:8ー

カルデアの軍勢は王の後を追い、エリコの草原でゼデキヤに追いついた。すると、王の軍隊はみな王から離れて散ってしまった。

自分を捕らえようとするカルデア人から逃げようとしませんが、あまり遠くには行けません。

—エレミヤ 52:9—

カルデアの軍勢は王を捕らえ、ハマテの地のリブラにいるバビロンの王のところへ彼を連れ上った。バビロンの王は彼に宣告を下した。

—エレミヤ 52:10—

バビロンの王は、…虐殺し…

これは生々しいです。

…ゼデキヤの息子たちを彼の目の前で虐殺し、ユダの首長たちもみなリブラで虐殺した。

—エレミヤ 52:11—

さらに、ゼデキヤの目をつぶし、彼を青銅の足かせにつないだ。バビロンの王は、彼をバビロンへ連れて行き、彼を死ぬ日まで獄屋に入れておいた。

さて、ここで再び、すべての詳細が出てきます。情報量が多すぎるとも言えます。本当に知りたくないことです。これは…、想像もつきません。私には二人息子がいます。私の目の前で、彼らが殺されることが起きるなんて、想像できません。そして、その後…それが、私の目が潰される前に見る最後の光景になるなんて。私は縛られてバビロンに捕らわれ、そこで牢獄に入れられ、死ぬまで放置されることになるのです。それが私にとっての結末となります。これが預言であったことに気づいていますか？ これはエレミヤ 34 章です。この最も興味深い預言の成就について、詳しく説明しました。この詳細は、エレミヤが預言した預言がすべて成就したことの確証を与えてくれるからです。エレミヤ 34 章 3 節から 5 節を読みましょう。

—エレミヤ 34:3—

あなた（ゼデキヤ）は、その手（バビロン王ネブカドネツアル）から逃れることはできない。…

…あなたは必ず捕らえられて、彼の手に渡されるからだ。あなたの目はバビロンの王の目を見、彼の口はあなたの口と語り、あなたはバビロンへ行く。

—エレミヤ 34:4—

ただ、主のことばを聞け、ユダの王ゼデキヤよ。主はあなたについてこう言われる。あなたは剣で死ぬことはない。

—エレミヤ 34:5—

あなたは平安のうちに死ぬ。人々は、あなたの先祖たち、あなたの先にいた王たちのために埋葬の香をたいたように、あなたのためにも香をたき、ああ主君よ、と言ってあなたを悼む。このことを語るのはわたしだ—主のことば。』

言い変えると、「ゼデキヤよ、これが、あなたにとっての結末です。」「待ってください。私はバビロンの王を見て、バビロンへ行きますが、でもバビロンは見ないと。どうしたらそうなるのですか？」ついて来て下さい。これが、ある意味、難問を生み出して面白いです。というのは、ゼデキヤはバビロンを見ずにバビロンに行くという預言があるからです。では、この預言はどのように成就されるのでしょうか。エゼキエルの預言もこれと同じ難問を繰り返しています。エゼキエル 12 章 12 節から 13 節です。

—エゼキエル 12:12—

彼らのうちにいる君主は、暗いうちに荷物を背負って出て行く。出て行けるように壁に穴が開けられる。

—エゼキエル 12:12—

彼らのうちにいる君主は、暗いうちに荷物を背負って出て行く。出て行けるように壁に穴が開けられる。彼は顔をおおう。自分の目でその地を見ることはもうないからである。』

—エゼキエル 12:13—

わたしはまた、彼の上にわたしの網をかけ、彼はわたしの罠にかかる。わたしは彼をカルデア人の地、バビロンへ連れて行く。しかし、彼はその地を見ずに、そこで死ぬ。

ほとんどなぞなぞのようですよ？ 娘と算数の話をしていたのですが、文章問題を解いています。文章問題がどんなのか分かりますね？ それらは悪魔の仲間です。—（笑）—

「ジャックとジルは時速 4 マイルで丘を下り、時速 2.75 マイルで反対方向に風が吹いています。」問題を解かなければなりません。「ブラジルの気温は何度ですか？」それは…えっ…？ 私は大嫌いでした。理解することが出来ませんでした。というのも、このような難問を解くためには、自分で考え、処理することが必要だからです。ところで、答えはありません、お分かりですね？ あれは、その…では、とにかく。ブラジルの気温なんてどうでもいい、と言いたかったんです。まあ、これはそんな感じです。これはなぞなぞで、預言なのですが、ある意味、難問です。つまり、ゼデキヤはバビロンに行きますが、バビロンを見ることはないという預言です。その預言はどのように成就するのでしょうか？ エレミヤ 52 章、第二列王記 25 章がその答え、問題のブラジルの気温を教えてください。—（笑）— 第二列王記 25 章 1 節からです。

—II 列王記 25:1—

ゼデキヤの治世の第九年、第十の月の十日に、…

聞き覚えがありませんか？

…バビロンの王でネブカドネツアルは、その全軍勢を率いてエルサレムを攻めに来て、これに対して陣を敷き、周囲に壘を築いた。

—II 列王記 25:2—

こうして都はゼデキヤ王の第十一年まで包囲されていた。

—II 列王記 25:3—

第四の月の九日、都の中で食糧難がひどくなり、民衆に食物がなくなった。

—II 列王記 25:4—

そのとき、都は破られ、戦士たちはみな夜のうちに、王の園に近い二重の城壁の間にある、門の道から出て行った。カルデア人が都を包囲していたので、王はアラバへの道を進んだ。

—II 列王記 25:5—

カルデアの軍勢は王の後を追い、エリコの草原で彼に追いついた。すると、王の軍隊はみな王から離れて散ってしまった。

—II 列王記 25:6—

カルデアの軍勢は王を捕らえ、リブラにいるバビロンの王のところに彼を連れ上り、（エレミヤが預言した通りです）彼に宣告を下した。（エレミヤが預言した通りです）

—II 列王記 25:7—

彼らはゼデキヤの息子たちを彼の目の前で虐殺した。王はゼデキヤの目をつぶし、青銅の足かせをはめて、バビロンへ連れて行った。

そういうことです。さて、ここで本題に入ります。聖書には預言があります。私たちの人生には、とても

複雑に思えるような状況があります。私たちは、どうあがいても理解することはできません。神はこれらどのように成就されるのでしょうか。これは不可能に思えます。待ってください、まさにその通りに起こりました。ゼデキヤの目は取り出され、バビロンに連れて行かれ、預言は成就しましたが、決してバビロンを見ることはありませんでした。そういうことです。そしてそれは、ブラジルの気温やバビロンにも言えることです。さて、これを使うのは最後ですが、ちょっと飽きてしまったかもしれませんね。要点は何でしょうか。これがポイントです。神がどのようになさるのか、私たちにはわからないかもしれません。神がいつそれをなさるのかわからないかもしれません。私たちは、神のなさる方法がわからないかもしれません。実は、自分に正直になれば、私たちは神がそれをなさるとは、実は信じていないのです。なぜなら、それはとても複雑で、不可解で、不可能にさえ思えるからです。しかし、神は、それを行われます。神はご自分の方法で、神のご栄光のために神の時にそれを行われます。神は必ずしてくださるので、安心してください。それはどちらにも当てはまります。両者ともに、とでも言いましょうか。もし神が仰ったなら、それで決まりです。そうかまあ、神の裁きということであれば、その裁きを受ける側である限り、私は冷静でいられます。しかし、神の約束はどうでしょうか？ 神の祝福はどうでしょうか？ 聖書のページには、文字通り何千もの約束があり、神は「わたしの約束を与える。わたしはこれを行う。」と言われました。私たちの返答は、「あなたがどうなさるのか私には分かりません。」「大丈夫です、J.D。わたしは自分がどうするのか分かっています。」「ええ、でも、神さま、…これは、解答のない文章問題です。これは非常に複雑です。不可能です。」神はこう仰るようです。「J.D、わたしは不可能を可能にする神です。実は、本当は、わたしができるように、わたしがそれを不可能にしました。もし、それがまだあなたにとって可能であれば、わたしはあなたを知っていますが、あなたは自分でしようとしています。ええ、やってみることは出来ますが、あなたにとってまだ可能なら、わたしにとっては不可能です。なぜなら、わたしは強要することはしないからです。」

もしまだ可能性があり、あなたがまだ希望を抱いていて、それを解決してうまくいくなら、神はこう仰るでしょう。

「分かりました。準備ができたなら教えてください。わたしはここにいます。あなたがやってみて、失敗して、それからわたしのもとに戻ってくるとき、このことは本当にめちゃくちゃになっています。あなたは手を上げて、こう言います。『神さま...！これは不可能です！』」

分かりませんが、今このイメージが頭に浮かびました。天の軍勢、私に関する任務を与えられた御使いたちが、私を見下ろしながらこう言う姿が目浮かぶようです。

「おいおい、この男は分かっていない。こいつはどうしたんだ？ なぜそんなに時間がかかったんだ？ あなたが神のもとに来てこう言えば、多くの悲しみと惨めさと苦しみと痛みと挫折と苦悩から免れることができたのに。『神さま、ここにいます。これは不可能です。』神の恵みと愛の応答は、いつもこうです。

「よし、じゃあ見ていなさい。」そして、神はそれを行われます。私たちはただただ畏敬の念を抱いて立ち尽くします。「わお...神さま...！ これはすごいです！」神は「分かっています。わたしはすごいのです。」「神さま、これは素晴らしいです！」「分かっています。わたしは素晴らしいんです。」「どうやってなさったのですか？」「わたしは神です。わたしに難しいことが何かありますか？」「ええ、でも、神様、これはとても悲惨で、絶望的で、不可能に見えます。私はただ、もうおしまいだと思いました。そしてあなたは成し遂げられ、それを行われました。しかも、それが紛れもなくあなたご自身であることを示すように。」疑問の余地はありません。ここに居られる皆さんも含め、誰もこんなことは言えません。

「ええ、まあ、説明はつくでしょう。」いいえ。神がなさったという以外に説明はつきません。私には神がどうなさるのか分かりませんでした。しかし、信仰によって、主がそれを成し遂げてくださると約束されています。よく引用されるヘブル書の一節に、

「信仰がなければ、神を喜ばせることはできない」というのがありますね。(11:6)

私が残念に思うのは、私たちは、神の御言葉のそのような箇所を、ただ暗記して、引用して、それについて話して、それを知っているのに、ただ否定してしまうからです。それが何を意味するのか理解しているのでしょうか？ 信仰がなければ神を喜ばせることができないのであれば、信仰があれば神を喜ばせることができるということです。今夜ここにいる私たちの中で、神を喜ばせたくないと思う人は一人もいないと思います。

「つまり、私が信仰を持てば、神は喜んでくださるということですね。」

神は喜ばれます。私たちの信仰に魅力を感じられます。つまり、自分の子どもが自分を信じ、不可能を可能にすることを信じることに抵抗できないのです。それはほとんどこんな感じです。これは私の考え方なのですが、私は主と非常に興味深い関係を持っています。私たちは、一緒に素晴らしい時間を過ごし、多くの素晴らしい会話をします。私は主に語りかけ、主は私に語り返してくださいます。いいえ、声が聞こえているわけではありません。私は（聖書から）聖霊の静かな小さな声を聞いています。私の精神状態について結論づける前に、はっきりさせておきましょう。主がこう言っておられるのを想像します。

「わたしはあなたのためにこうしたい。わたしがあなたのために、わたしの栄光のためにこれをすると、わたしに完全に信頼を置いたことに気づいた時、わたしはそれに抵抗することはできません。わたしはこんな感じです。」

『さあ、そこへ降りて行こう。J.D.を見たか？ 彼はわたしを信頼している。わたしを信頼する者は、決して失望することはありません。冗談でしょ？ 彼を失望させるわけにはいかない。わたしは現わし、このことを行う。彼はわたしに頼っている。彼はわたしを頼りにしている。わたしに信頼している。わたしに信仰を置いている。さあやりましょう。』

神は抵抗することができません。神はそれがたまらなく愛おしいと感じられます。それは自分の子どもと一緒にいる地上の、墮落した親のようだと考えます。

いいですか？ 彼らはあなたを完全に信頼し、あなたを頼り、あなたを信頼してやってきます。私の息子たちが小さかった頃、デボーションで、信仰と信頼について教えていました。目をつぶって後ろに倒れてもらい、その人を受け止めるという信頼関係のゲームを知っていますか？ 私は完全に台無しにしてしまい、一生の傷になるのも無理はありません。というのも、そうしないほうが面白いと思ったからで、すると、彼らはただ...それを考えると、とても納得がいきますが...しかし、彼らは完全に信頼しています。見えることではなく、信仰によって。見えることの反対です。

なぜなら、信仰はまだ見ぬものの証拠となる希望の実体だからです。(ヘブル 11:1)

だから、彼らはただ、私を受け止めると完全に信頼し、子どものような信仰を持っているのです。だから、そういう信仰と信頼があれば、主は、地上の父親である私と違って、私を受け止めて養ってくださらないなんてことは...決して失望することはありません。

「ええ、でも牧師さん、私は今、とても困った状況で、つまり、とても複雑なんです。めちゃめちゃです。とてもひどいものです。ローマ人への手紙 8章 28節には、神が良い結果をもたらしてくださるという約束が書かれているのは知っていますが…」

この箇所は、私たちが歌い、暗記し、引用し、口にし、知っている箇所の一つだと思います。しかし、私たちは本当にそれを理解しているのでしょうか？ なぜなら、非常に具体的なものは、「知っています」と書かれており、「願っている」「望んでいる」「思う」ではありません。いいえ、

「神が”すべて”のことを働かせてくださると私たちは知っています」「ほとんどのこと」「ただあなたの状況による」と書かれていないことが嬉しくないですか？「この一週間、どれだけ良いクリスチャンであったか」「どれだけ御言葉と祈りに時間を費やしたか」「十分の一献金をしましたか？」

私たちは律法の下にいないことに感謝します。それを律法主義と言います。ちなみに私は、律法主義アレルギーです。少しでも律法主義に近づくと、発疹が出て、目が腫れてきて、私の...とにかく、恐ろしいんです。律法主義。悪魔的です。私たちは律法の下にではなく、恵みの下にいます。恵みです。

ですから、神は”すべてのことを”共に働かせて益としてくださいます。

「ええ、でも、今回は違う。」いいえ、「すべて」と書かれています。それは「すべて」ということですよ。ね？「ええ、でも、これは違います。」いいえ、それも「すべて」に入っています。だって、「すべて」の意味は…（会衆：「すべて」）どうもありがとう。

—ローマ 8:28—

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

私たちが召された目的は、次の節にあり、それは、私たちがイエス・キリストのかたちに造り変えること、私たちがよりイエスに似た者とすることです。ちなみに、これも興味深いのですが、話が大きく脱線し、まだ章がたくさん残っているのは分かっていますが、この書の味を堪能しています。しかし、もしそれが目的であるなら、私の人生における試練を神が共に働かせて益としてくださるとするのは、当然のことではありませんか。このことは、私がさらに愛、喜び、忍耐、優しさ、柔和、これらすべてを備えたイエスのようになるための必要な働きをします。それが目的です。それが目的であるため、神はそれを許されます。神はそれを行われ、あなたは見るでしょう。詩編 27 編 13 節、14 節です。ダビデは言いました。「私はもう少しで投げ出すところだった。ほとんど諦めていた。それでも私は、生ける者の地で、主の善意を見るのだと確信している。」

ダビデは、自分自身と対話をしているようです。これは独り言とは違います。自分に語りかけています。

「座りなさい、話がある。」と自分に語っています。「主を待ち望みなさい。勇気を出し、強くありなさい。待っていなさい。ただ待ちなさい。あなたは見るでしょう。」「ええ、でも、神がどうなさるのか分かりません。」「ええ、あなたは見るでしょう。」私たちが子どもに言うことでしょうか？「ちょっと待って。今に分かるから。」昔はそれが嫌でした。特に、子どものころ、お父さんお母さんに聞いたときに。「ねえ、ママ...」「今に分かるから。」それは、たいてい「ダメ」という意味です。しかし、詩篇 27 編 13 節 14 節は違います。「待っていなさい。あなたは見るでしょう」は「はい、それは起こります」という意味です。では、12 節。

—エレミヤ 52:12—

第五の月の十日、バビロンの王ネブカドネツアル王の第十九年のこと、バビロンの王の家来、親衛隊の長ネブザルアダンがエルサレムに来て、

—エレミヤ 52:13—

主の宮と王宮とエルサレムのすべての家を焼き、そのおもだった建物をことごとく火で焼いた。

ーエレミヤ 52:14ー

親衛隊の長と一緒にいたカルデアの全軍勢は、エルサレムを取り巻く城壁すべてを打ち壊した。

ーエレミヤ 52:15ー

親衛隊の長ネブザルアダンは、民の貧しい者たちの一部と、都に残されていた残りの民、バビロンの王に降伏した投降者たち、そのほか技術に秀でた人たちを捕らえ移した。

ーエレミヤ 52:16ー

しかし、親衛隊の長ネブザルアダンは、その地の貧しい民の一部を残し、ぶどうを作る者と農夫にした。

ーエレミヤ 52:17ー

カルデア人は、主の宮の青銅の柱と、車輪付きの台と、主の宮にある青銅の「海」を砕いて、その青銅をみなバビロンへ運んだ。

ーエレミヤ 52:18ー

また、灰壺、十能、芯取りばさみ、鉢、平皿、奉仕に用いるすべての青銅の器具を奪った。

ここで在庫を確認をしているのですか？ この詳細は、ダニエル書5章の別の預言で出てきます。

ーエレミヤ 52:19ー

また親衛隊の長は、小鉢、火皿、鉢、灰壺、燭台、平皿、水差しなど、(なるほど、今分かりました) ”純金”や”純銀”のものを奪った。

いつか後悔することになりますよ。

ーエレミヤ 52:20ー

ソロモン王が主の宮のために作った二本の柱、一つの「海」、車輪付きの台の下にある十二の青銅の牛、これらすべての物の青銅の重さは、測りきれなかった。

重さを量ることも、大きさを測ることも、できませんでした。

ーエレミヤ 52:21ー

その柱は、…

私たちは実際にこの柱について学びました。とても魅力的で、立派な柱です。

…一本の柱の高さが十八キュビト、その周囲は十二キュビト、その厚さ是指四本分で、中は空洞になっていた。

ーエレミヤ 52:22ー

その上の柱頭は青銅で、一つの柱頭の高さは五キュビトであった。柱頭の周りに格子細工とざくろがあって、すべて青銅であった。もう一本の柱も、そのざくろも、これと同様であった。

ーエレミヤ 52:23ー

周りには九十六のざくろがあり、周りの格子細工の上には全部で百ざくろがあった。

ざくろがいっぱいですね。かなりの金額です。

ーエレミヤ 52:24ー

親衛隊の長は、祭司のかしらセラヤと次席祭司ゼパニヤと三人の入り口を守る者を捕らえ、

ーエレミヤ 52:25ー

戦士たちの指揮官であった一人の宦官、都にいた王の七人の側近、民衆を徴兵する軍の長の書記、そして都の中にいた民衆六十人を、都から連れ去った。

ーエレミヤ 52:26ー

親衛隊の長ネブザルアダンは彼らを捕らえ、リブラにいるバビロンの王のもとへ連れて行った。

もう少しで終わります。頑張ってください。なぜ私たちがこのようなことを知る必要があるのでしょうか？ 今に分かります。ただ待っていてください。－（笑）－

－エレミヤ 52:27－

バビロンの王はハマテの地のリブラで、彼らを打ち殺した。こうして、ユダはその国から捕らえ移された。

－エレミヤ 52:28－

ネブカドネツアルが捕らえ移した民の数は次のとおりである。第七年には、三千二十三人のユダヤ人。

－エレミヤ 52:29－

ネブカドネツアルの第十八年には、エルサレムから八百三十二人。

－エレミヤ 52:30－

ネブカドネツアルの第二十二年には、親衛隊の長ネブザルアダンは、七百四十五人のユダヤ人を捕らえ移し、その合計は四千六百人であった。

それだけですか？ 待ってください。では質問です。実は、ここでいくつか質問がありますが、よろしいですか？

質問1：なぜ、これを知る必要があるのでしょうか？

質問2：なぜ合計が少ないように思えるのか？

この3度の侵略と捕囚は、もっとあったのではないのでしょうか？ 鍋やフライパン、すべての品物、金、メッキではなく純金、純銀に至るまで、かなり詳細に説明されていて、そして今度は、この捕らえ移された人たちのことも語られ、3度目には、合計で4600人になったということです。では、最初の質問についてです。なぜ、このような詳細な情報があるのでしょうか？ なぜこれを知る必要があるのでしょうか？ なぜなら、ユダの罪のために起こった絶対的な荒廃と破壊を語っているからです。ネタバレですが、来週は、主の御心なら「哀歌」1章です。私たちの罪が何を引き起こすかを見ていきます。それが私たちに何をもたらすか、他人に何をもたらすか、そしてさらに重要なことは、それが神に何をもたらすかです。哀歌の1章を読んでいたら、5つの章、5つの歌があるのですが、皆さん来なくなるので、実は、あまり言わないほうがいいのですが…、でも実際は告別式の歌です。その詩であり、その歌であり、追悼の歌です。それでも皆さん、来週来られますか？ 最初の哀歌は、50個見つけました。もっとあるだろうと思い、やめました。だいたい50個でやめました。私の罪がもたらす50の結果。苦々しさ、孤独、恐れ、不安。50個も。これで来週は本当に来ないですね。「牧師さん、何が言いたいのですか？」私が言いたいのはこれです。ユダの罪の深刻さを強調する必要があるため、このような詳細な説明があるのです。なぜなら、ユダの罪の深刻さは、私たちの罪の深刻さであり、私たちの罪の結果であるからです。この人々は全員、捕虜になりました。ソロモンの神殿にあったすべてのもの、これらのすべての富は、その価値を数えることも、測ることもできませんでした。それらはバビロンに持って行かれました。そして、ベルシャザルは、エルサレムの神殿から盗んでバビロンに持ち込んだ金の杯で酒を飲み、酔っぱらっていました。なぜそれを知る必要があるのでしょうか？ なぜそれが私の聖書にあるのでしょうか？ 神は私に、これは深刻なことだと知ってほしいからです。2週間前にも言いましたが、私がまさに初めて聖書を読み通した時、新しい信者だった時、創世記から始めました。そうすべきではなかったのですが。新約聖書から始める利点があります。動物の生け贄の話になったとき、「冗談だろう？ 私が罪を犯すたびに、動物を生贄にし

なきゃいけないの？」私は白紙状態でした。何の知識もありませんでした。実際、車で移動するとき、教会や駐車場の前を通り、家畜を探していました。「彼らはこんなことするの？」これは…、誇張しているわけではありません。新約聖書にたどり着いた時、私は気が付きました。

「待てよ。イエスが一度きりの生贄となられたんだ！ イエスさま、ありがとうございます！ 私は毎回こんなことしなくていいんだ。私が罪を犯すたびに、あなたはそれを取って下さる！ それは支払われました。あなたが生贄となられました。分かったぞ！」

私は賢い人ではありません。きっとその時もそうだったのでしょう。しかし、罪を犯すたびに、動物を取って生け贄とし、その動物の血を流さなければなりませんでした。それほど深刻なことでした。血が流さなければなりませんでした。これは、罪の深刻さ、罪の結果を深く理解させるために、ここに書かれているのだと思います。

質問2：なぜ合計の数字がこんなにも低いのか？

2 つ理由があります。1 つ目は、これは男性のみを数えたものであり、妻や子どもは含まれていません。それを加えると、当然ながらかなり多くなります。2 つ目の理由は、もっと面白いです。なぜ、こんなにも数字が低いのか？ 合計 4600 人？ それは、生き残った人々だけです。その数、亡くなった人の合計を考えてみてください。それを視野に入れてください。だからこそ、この詳細があるのだと思います。31 節。ああ、この節と残りの章を神に感謝します。

—エレミヤ 52:31—

ユダの王エホヤキンが捕らえ移されて三十七年目の第十二の月の二十五日、バビロンの王エビル・メロダクは、即位した年のうちにユダの王エホヤキンを呼び戻して(エホヤキンの頭を上げ)、獄屋から出し、待ってください。この男は 37 年間も牢獄にいました。彼はバビロンに捕虜として連れて行かれ、牢獄に入れられ、37 年間そこにいました。だから、仮に彼が 20 歳だったとすると…だいたいです。20 歳から 37 年だと、彼は 57 歳です。この男は…「Evil (悪)」-Merodach (イーブル・メロダク) じゃなかったら良かったんですが。それほど悪ではなく、非常に善良で、親切だからです。エホヤキンを自由にし、牢から出して、頭を上げました。これは、ユダヤ人の慣用語です。ここでも、落ち込んでいるあなたに、頭を上げる/希望を与えるという比喩的な表現が使われています。そして、さらに良くなります。彼は他にもこんなことをしました。

—エレミヤ 52:32—

優しいことばをかけ、バビロンで彼とともにいた王たちの位よりも、彼の位を高くした。

—エレミヤ 52:33—

彼(エホヤキン)は囚人の服を脱ぎ、その一生の間、いつも王の前で食事をした。

37 年間も牢獄にいたとき、必ずしもパンをもらえたわけではないと推測します。

—エレミヤ 52:34—

彼の生活費は、死ぬ日までその一生の間、日々の分をいつもバビロンの王から支給されていた。

「そして、彼は幸せに暮らしました。おしまい。」お～神さま、52 章を感謝します。なぜ私がすぐ最後にいきたかったか分かりますね？ これは希望です。ここで少し、類型に気づきましたか？ 私たちには、賛美の外套が与えられています。(イザヤ 61:3)

私たちは義の衣を着せられ、(イザヤ 61:10)

投獄されていた時の衣を脱ぎます。優しいことばをかけられ、私たちは日々の糧を与えられています。王

の食卓で食事をしているのです。実は私たちは、私たちと共に、また私たちより前にいた王たちよりも優れた食卓の席が与えられています。私が何を言いたいかわかりますね？ これはイエスです。イエスがなさることです。イエスは毎日与えてくださいます。イエスは日々のマナであり、その分であり、いのちのパンです。毎日そこにあります。私は死ぬまで決して不足することなく、欠けることはありません。聖書の書、そしてそれによる聖書の学びを終えるのに、これ以上良い方法はないと思います。ただ、ちょっとだけ浸っていたいです。では、カポノ上がって来て下さい。一緒に浸りましょう。皆さんもどうぞお立ちください。一緒に浸りましょう。

主よ、52章を感謝します。そうですね？ いつも希望があります。主よ、感謝します。あなたは私たちの頭を上げてくださるお方です。あなたは私たちの希望です。私たちの祝福された希望、唯一の希望です。あなたは囚人を自由にし、捕らわれ人を自由にされます。盲人に視力を与えられます。あなたは救い出し、贖い、提供し、養ってくださいます。私たちに義の衣を与えてくださいます。私たちにあなたの義を着せてくださいます。私たちを愛されているからこそ、ただ優しく声をかけてくださいます。

主よ、ありがとうございます。この結末に感謝します。これが私たちの結末であることに感謝します。これが私たちの希望であり、私たちが目を向け、信頼し、感謝する希望であることに感謝します。エレミヤに感謝します。この書に感謝します。この書の中で、そしてこの書を通して、あなたが私たちの人生になしてくださったすべてのことに感謝します。この書のおかげで、多くの人生の教訓と適用を得ることができ、感謝します。今夜、それが私たちのものであるという希望を、持って帰れるように祈ります。特に、落胆し、落ち込んでいる人、絶望に打ちひしがれている人、希望を失っている人のために。主よ、どうか彼らの頭を上げ、彼らの希望を新しくしてください。弱った膝を強めてください。主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7